

肝炎ウイルス検査のすすめ

一生に一度の血液検査でがんの危険を一つ減らしましょう！

院長 寺崎 修一

テレビコマーシャルで中高年層に人気のきみまろさんが、「ご主人の顔は忘れても、肝炎ウイルス検査は忘れずに！！」、倍賞美津子さんが「C型肝炎に新しい治療法が増えています」、C型肝炎を克服された吉幾三さんが「さあ、治療にいくぞ！」と言っていますね。今回は肝炎ウイルス検査のおはなしです。



日本人の死因分類の第一位は悪性新生物、つまり「がん」です。生涯のうち二人に一人は「がん」になり、五人に一人は「がん」で死亡します。「がん」を予防するにはさまざまな方法があります。飲酒、喫煙、肥満などの生活習慣を改善することが多くの「がん」予防に有効です。一方、感染症が原因の「がん」もあり、感染症治療をすれば「がん」を予防できます。その代表が「肝臓がん」です。

日本では約40人に1人が肝炎ウイルスに感染しています。肝炎ウイルスに感染している人は感染していない人の400倍も「肝臓がん」になりやすいとされています。「肝臓がん」をひきおこす肝炎ウイルスはB型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスです。どちらのウイルスもよほど肝臓が悪くなるまでは症状がないので、血液検査でしかみつけることはできません。

もし検査の結果、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスの感染がわかって、いまは飲み薬で副作用も少なく治療ができる時代になりました。安心して検査を受けて下さい。しかも、治療を受ける場合の費用についても医療費の助成制度があります。

肝炎ウイルス検査は石川県肝炎ウイルス事業として「無料」で受けられます。県から委託された医療機関か河北地域センターで受けることができます。多くの医療機関が石川県から検査の委託をされていますので、お近くの医療機関にお尋ねください。(河北中央病院でも行っています。)

各市町の検診のときに40歳以上であれば肝炎ウイルス検診を無料か300円で受けられる場合があります。市町村の検診を受ける際にお尋ねしてみてください。

石川県では肝炎ウイルス陽性の方への情報提供や相談支援のため、金沢大学附属病院を連携拠点病院として、県内18医療機関が肝疾患専門病院として選定されています。河北中央病院は平成27年1月より肝疾患専門医療機関に登録されました。



あなたが肝炎ウイルス感染をしている40人に1人ではないか、一生に一度で結構ですので、肝炎ウイルス検査を受けてみませんか？